

# 平成21年度岡山市学童陸上運動記録会

11月14日(土)に岡山県陸上競技場(桃太郎スタジアム)において、平成21年度岡山市学童陸上運動記録会が開催されました。今回は、インフルエンザの影響もあり、エントリー数が減ったものの700人近い参加者が自己の記録に挑戦したり、友だちとの親睦を深めたりしました。



前日までの雨...。開催自体が危ぶまれましたが、天気予報やアメダスの様子から開会の時間には天候は回復するという予測のもと、早朝から役員の先生方を中心に会場準備をしてくださいました。開会式の頃には青空が広がり、絶好のスポーツ日和になりました。少し風はあったものの、秋の心地よい日差しが降り注ぎました。



山脇教育長からも激励の言葉をいただきました。先頃石井小学校で開催された「トップアスリート派遣指導事業陸上教室」に講師としてきていただいた佐藤友香選手がお話しされた「考えてスポーツをする」ということをテーマに、自分で意欲的になれば記録や技術が向上するというお話でした。ブロックの記録会を突破した選手達にとっては、さらに自分を磨くことへの大きなヒントになったことでしょう。



選手宣誓は城東台小の二人。はっきりとした大きな声が会場に響き渡りました。二人にとっても良い思い出になったことでしょうね。



## ...競技の様子...



### 100m走



### 走り幅跳び

## 走り高跳び



## 60mハードル



## ソフトボール投げ

全員が一生懸命「走り」「投げ」「跳び」ました。最高の舞台で、自己の記録に挑戦する姿は、実に格好いいものです。一人一人が輝いていました。

## …陸上教室…

毎年恒例の陸上教室が開催されました。県内のトップの指導者による実技指導は、子供達にとって大きな宝物になります。

今年はもう一つ大きな宝物が…インターハイや国体で数々の輝かしい成績を残している玉野光南高等学校の**安部選手**が、子供達の目の前でハードルを跳んで見せてくださったのです。子供達はそのリズムの良さやしなやかなハードリングに目を奪われました。ある子が「風が通った」と表現していましたが、まさにその通り！本物を間近で見ることが最高の宝物になってことでしょう。



あまりの速さにカメラがついていけないほどでした。アドバイスをもらった子は、一生忘れないでしょう。





## 競技の締めくくりはリレー



チームでつなぐ1本のバトン。  
自分のためだけでなく、仲間のために歯を食いしばって走る姿には感動します。リレーに参加している選手はもちろん、応援席にいる選手や引率の先生、そして競技役員の先生も含めて会場にいるみんなが盛り上がりました。



今年は男子は「大元小チーム」  
女子は「芥子山小チーム」が最高タイムをマークしました。

今年は大きなケガもなく無事終了しました。  
一人一人が精一杯輝くすばらしいこの大会が、子供達にとっての  
一生宝物になればいいなあ...。  
本記録会に関わってくださった全ての方々に感謝です。  
ありがとうございました。